

警塚

塚

楊末

末

三編

四編

五編

松亭金水作



4313
22

鷗塚

梅赤本

四編

松亭

金水作

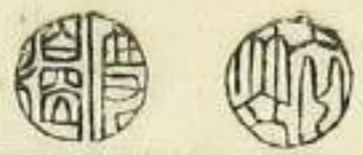
耀鉢

芳玉

魚



< 2802-170 >



毎朝山まゝづとま春はる昔むかし鳥とりのこゝろ一ひと声こゑももみみふふりり玉たまのとし年とし始はじめめのけい景けい物ぶつ
 ふふんんばば宜よろららんんとと需もち應おこトトててももやや飲のみみ初はつ編へん二に編へんももううちち過すてて今いま三さん
 編へんはは三さんのの切き換か骨こつ奪だつ胎たいのの古こ今いまのの作しやう者しやがが平へい生せいはは東とう西せいままるる所しよ為なふふ
 遠とほくく及およぶぶぬぬ様さまのの毛けのの三さん本ぽんたたららぬぬ筆ふでああららぬぬはは見みままるる
 場ばもも妻つまううらられれ一いつ始はじ終しゆう原げんよよううららんんははいいととももああららぬぬとと條じようををけけらら右みぎ
 りり左ひだりりり人ひとをを直ただししてていいははららぬぬ苦くる心こゝろいいふふははいいははららぬぬ怪あやししととゆゆふふ者もの
 宜よろししくくややぬぬややもも覺おぼええたたららぬぬ畢ひつ竟けい槽そうをを紙かみおおららぬぬはは謗ほうのの免めん
 とと難がたいいふふとと已おひひ顔かほささへへ赤あか本ほんのの序しよ言ごんははいいははららぬぬははいいははららぬぬ

嘉永三戌仲夏稿成
 全 四亥孟陬發兌

松亭金水誌



貞烈ハ

不易

雪中松

婦人の徳

道ありあらず

あつね 竹むすび

あつね 竹むすび

翠雲堂主人

榮枯忽變



奸曲夢

長柄

長者

女

長柄



加賀の 佐々木

太郎

澄守

濱野重三

興輝郎





Handwritten text in vertical columns at the top of the left page, likely a preface or introductory text.



Handwritten text in vertical columns at the bottom of the left page, continuing the narrative or providing commentary.

Handwritten text in vertical columns at the top of the right page, continuing the narrative or providing commentary.



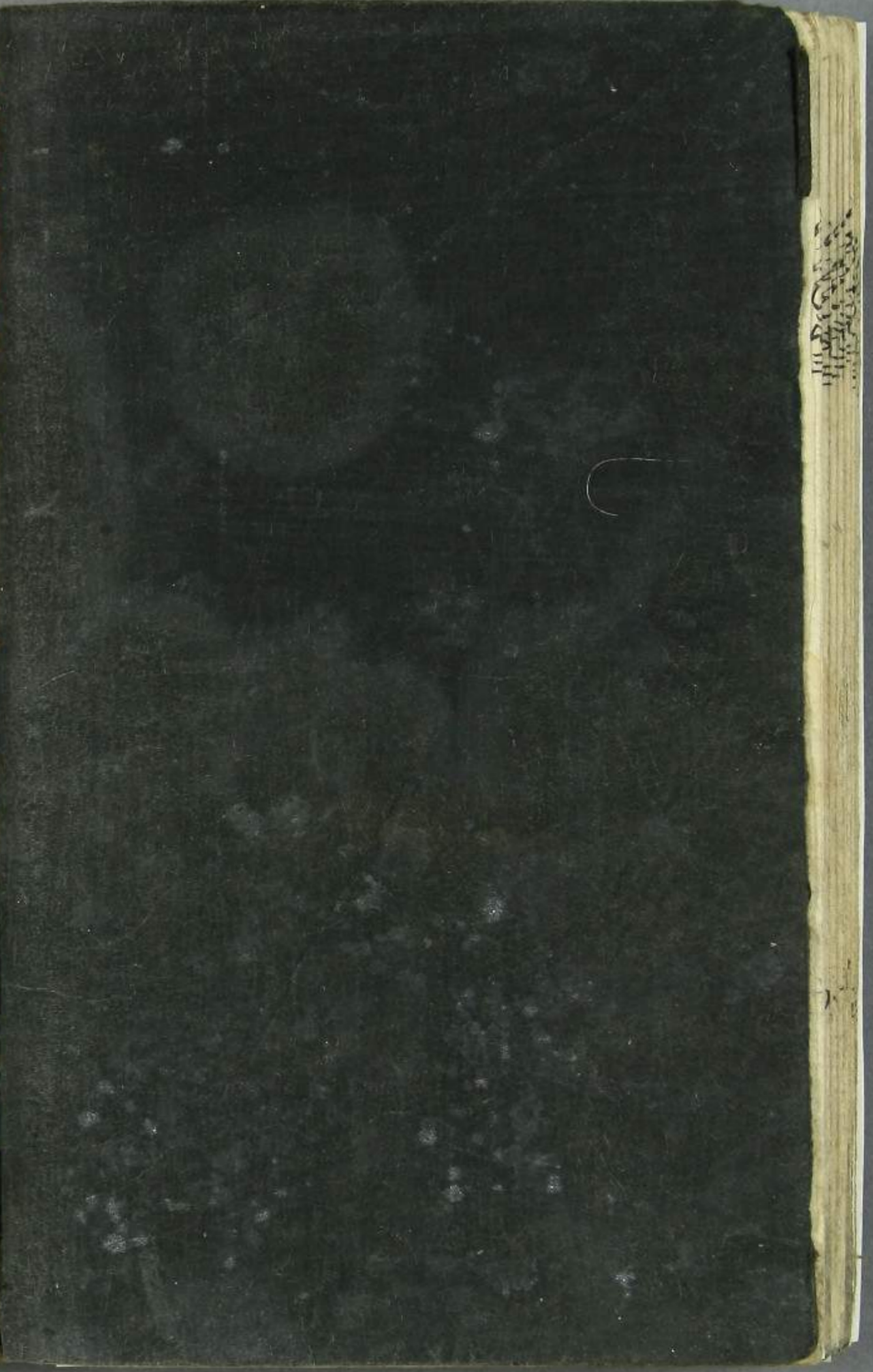
Handwritten text in vertical columns at the bottom of the right page, continuing the narrative or providing commentary.



本梅
赤三編

壽齋國政画

下





ままりがきこえ
ひちとさき

あつとんと身がぬ
あつとんと身がぬ
あつとんと身がぬ
あつとんと身がぬ

まのうらをきこえ
まのうらをきこえ
まのうらをきこえ
まのうらをきこえ

ひちとさき
ひちとさき
ひちとさき
ひちとさき

あつとんと身がぬ
あつとんと身がぬ
あつとんと身がぬ
あつとんと身がぬ

あつとんと身がぬ
あつとんと身がぬ
あつとんと身がぬ
あつとんと身がぬ

あつとんと身がぬ
あつとんと身がぬ
あつとんと身がぬ
あつとんと身がぬ

[Blank page with faint bleed-through text from the reverse side]



あつちのさうなすゝく...
 やまのうらみ...
 ちのささき...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...

その身にけり...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...



まゝに申すは...
あゝと云ふは...
さういふは...
七人の侍...



お前さんの...
おれが...
うしろの...

まゝに申すは...
あゝと云ふは...
さういふは...



お前さんの...
おれが...
うしろの...

まゝに申すは...
あゝと云ふは...
さういふは...
あゝと云ふは...
さういふは...



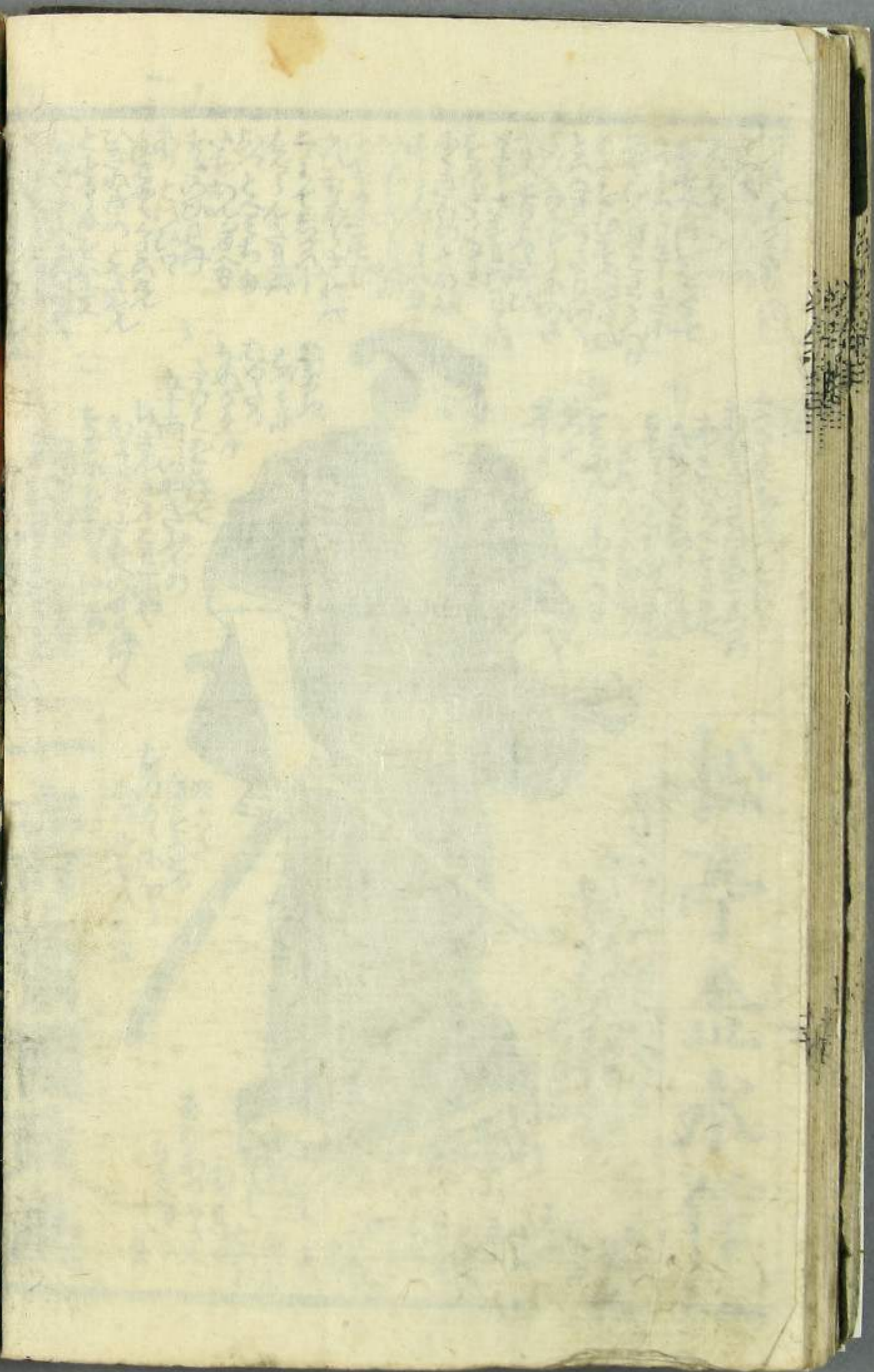
お前さんの...
おれが...
うしろの...



Vertical columns of Japanese calligraphy (kuzushiji) interspersed with the illustration. Includes labels like '梅' (Plum) and '竹' (Bamboo).



開鳥場梅赤本編



鶯

塚

梅

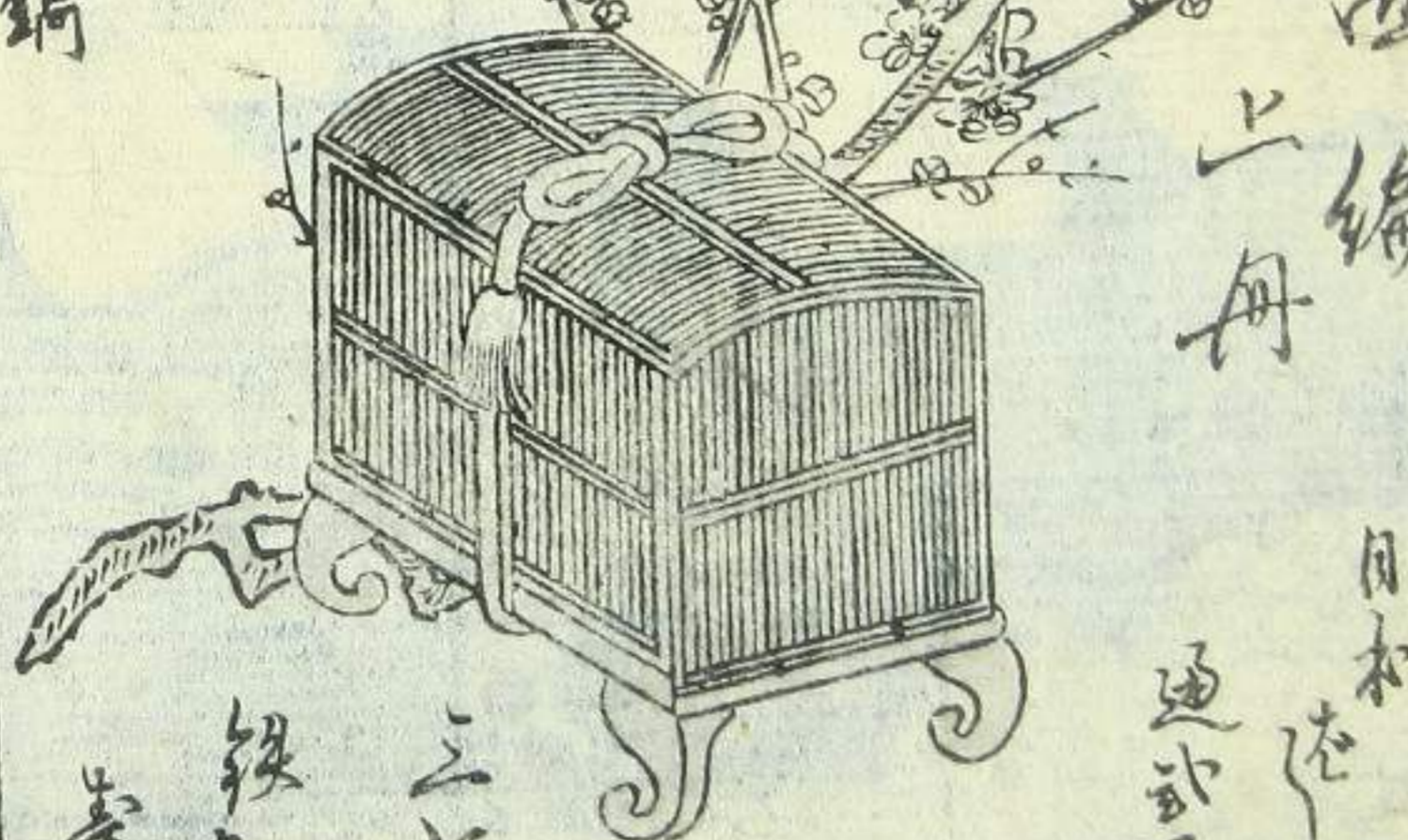
赤木

水作

一

春玉画

春新錫



四編

上舟

日本

透し

通計丁

目

三河

銀

刻

壽

近曾合卷世小行なきて年々歳々春毎小発市あり百部小餘は
畢竟世間小文華ひひて書籍を好み諸才子多々珍説異
聞ハ故人のいさざる深山の奥のたかくつら丸蒼海の底さ探して未
曾有の尙向焉るまバ視ゆ人頻々小眠て忘まて愛ととめて
を名ひ這ハり多輩の発達べき時節眼前小ありまらるる碌々とい
て料ふもつらむ竹小もほろろ梅小啼く鶯塚の名を仮て條を引
直さ成手柄とをり既小四編の巻小いり漸く稿を脱し人並に
のすまじと麒麟も老る鶯馬小劣は元より麒麟なるとね月の老
てりまむく廻り燈籠の油の減さ小異なると筆も心もまらぬね
不負魂負をとも難波れみろ小焼塩あらね辛くも筆と閣小いり
春生鳥の音なるとあくホウあけまらうと息をなれ

辛亥初春

金水陳人戲述

鶯塚四

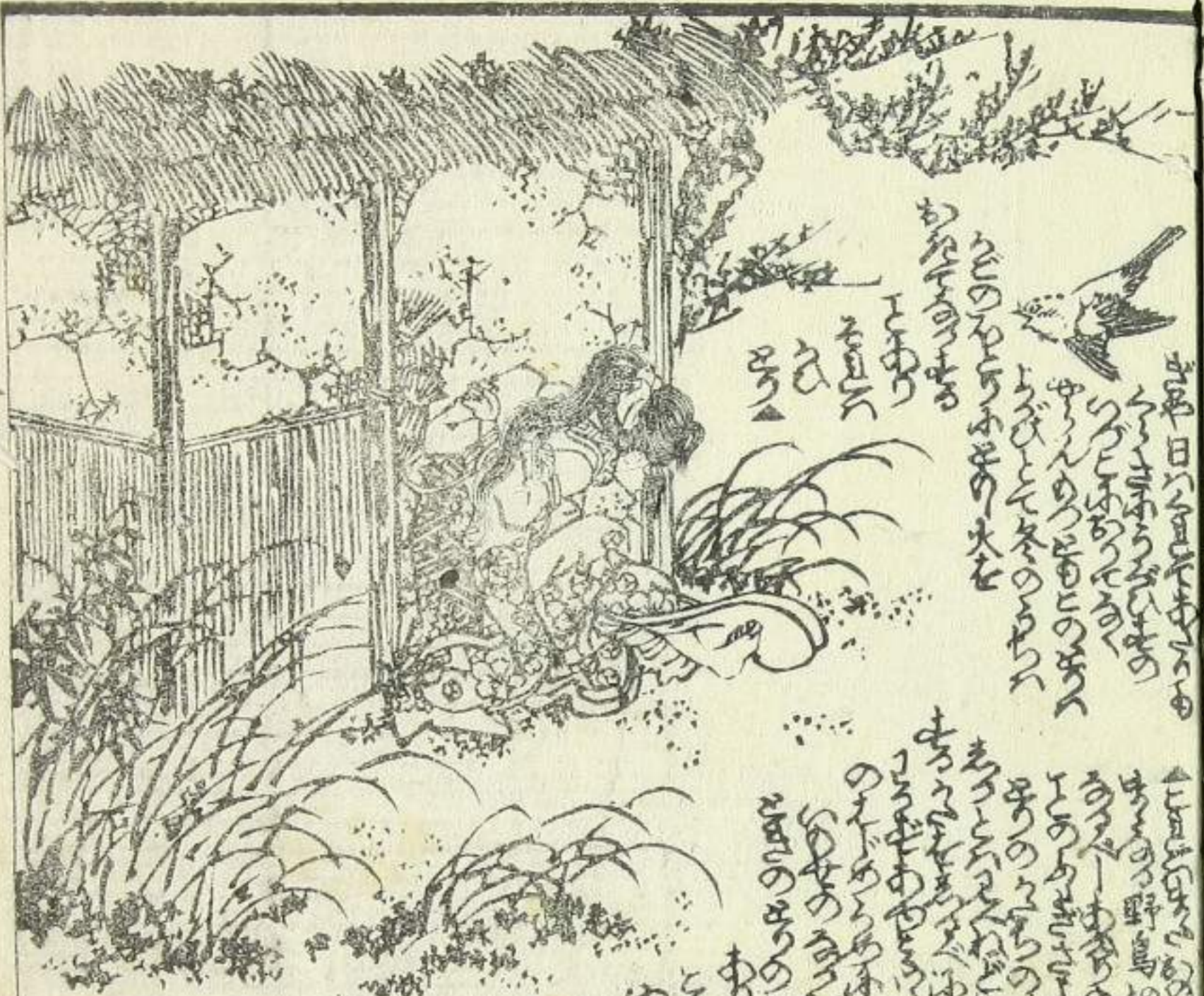


一両
花火
宵
其角
光る
うね

梅
女
長者
居合
井の上
横の
藏



佐
源
母
長者
老僕
忠
夫
太
木
之
介
清



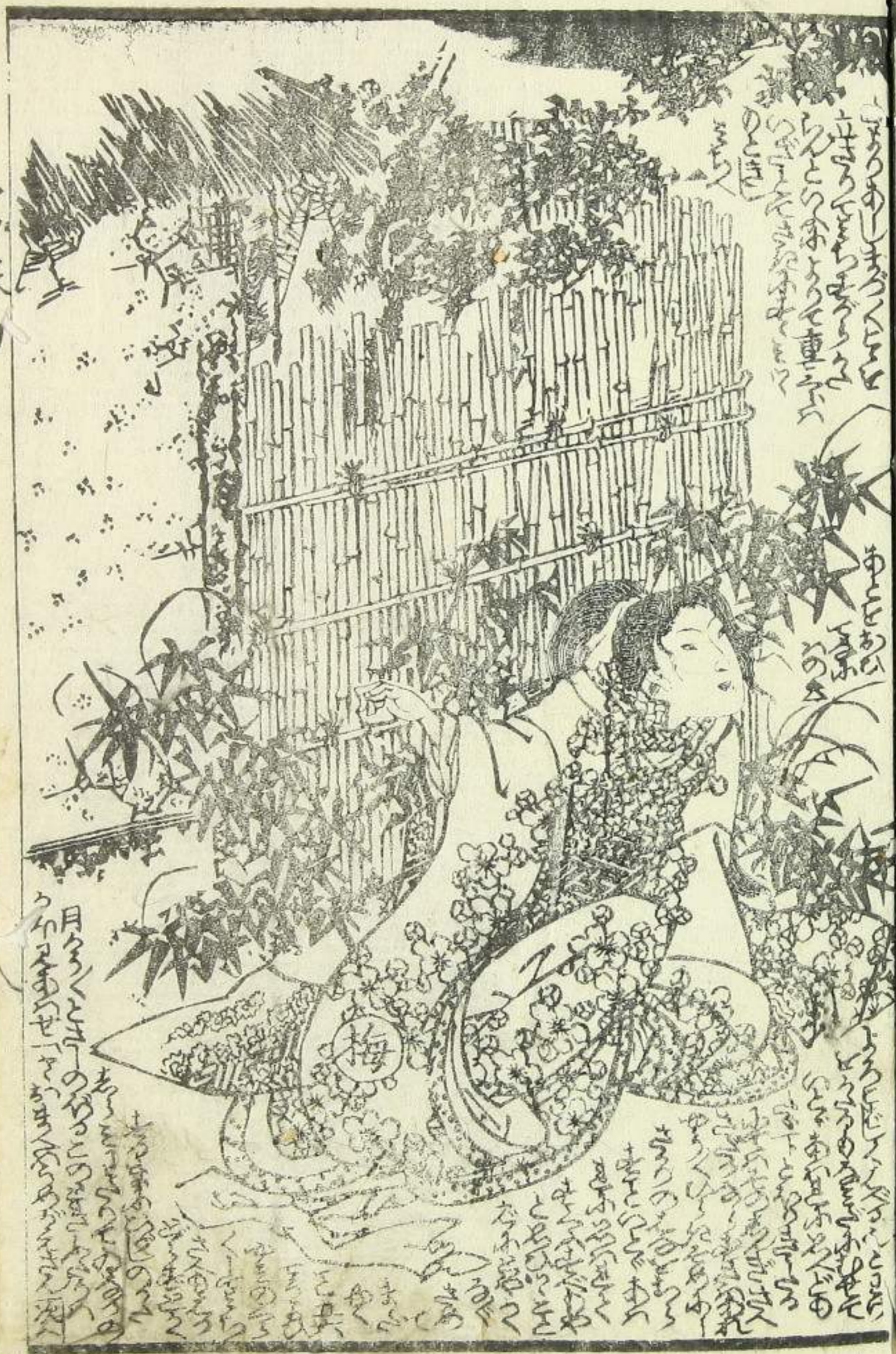
此の庭は
 竹の葉の
 影をうけて
 涼しげなり
 花の匂も
 遠くまで
 漂ひわたる
 鳥の鳴き
 声もまた
 心地よく
 聞ゆべし
 夕陽の光
 木漏れ日
 の影を
 うけて
 静かなる
 庭の光景
 見るに
 飽かぬ
 心ゆく
 歩むべし
 此の庭は
 自然の
 美しさを
 表現し
 人の心を
 癒す
 場所なり
 訪ねて
 みるに
 飽かぬ
 心ゆく
 歩むべし

鳥の家

七



重なる
 柱かた
 木漏れ日
 影をうけて
 涼しげなり
 花の匂も
 遠くまで
 漂ひわたる
 鳥の鳴き
 声もまた
 心地よく
 聞ゆべし
 夕陽の光
 木漏れ日
 の影を
 うけて
 静かなる
 庭の光景
 見るに
 飽かぬ
 心ゆく
 歩むべし
 此の庭は
 自然の
 美しさを
 表現し
 人の心を
 癒す
 場所なり
 訪ねて
 みるに
 飽かぬ
 心ゆく
 歩むべし



九車うらののよ
 あちして今画
 りて世に
 あん
 人の

九車うらののよ
 あちして今画
 りて世に
 あん
 人の

九車うらののよ
 あちして今画
 りて世に
 あん
 人の

九車うらののよ
 あちして今画
 りて世に
 あん
 人の

九車うらののよ
 あちして今画
 りて世に
 あん
 人の

九車うらののよ
 あちして今画
 りて世に
 あん
 人の



九車うらののよ
 あちして今画
 りて世に
 あん
 人の

九車うらののよ
 あちして今画
 りて世に
 あん
 人の

九車うらののよ
 あちして今画
 りて世に
 あん
 人の

九車うらののよ
 あちして今画
 りて世に
 あん
 人の

九車うらののよ
 あちして今画
 りて世に
 あん
 人の

九車うらののよ
 あちして今画
 りて世に
 あん
 人の



大仁かたの御所の御
 とつては
 大仁かたの御所の御
 とつては
 大仁かたの御所の御
 とつては



大仁かたの御所の御
 とつては

大仁かたの御所の御
 とつては

大仁かたの御所の御
 とつては

大仁かたの御所の御
 とつては



大仁かたの御所の御
 とつては

大仁かたの御所の御
 とつては

松亭金水作
一輝齋芳玉画



Vertical columns of handwritten Japanese text at the top of the left page, likely serving as a title or introductory text for the scene below.



Vertical columns of handwritten Japanese text at the top of the right page, continuing the narrative or providing commentary.



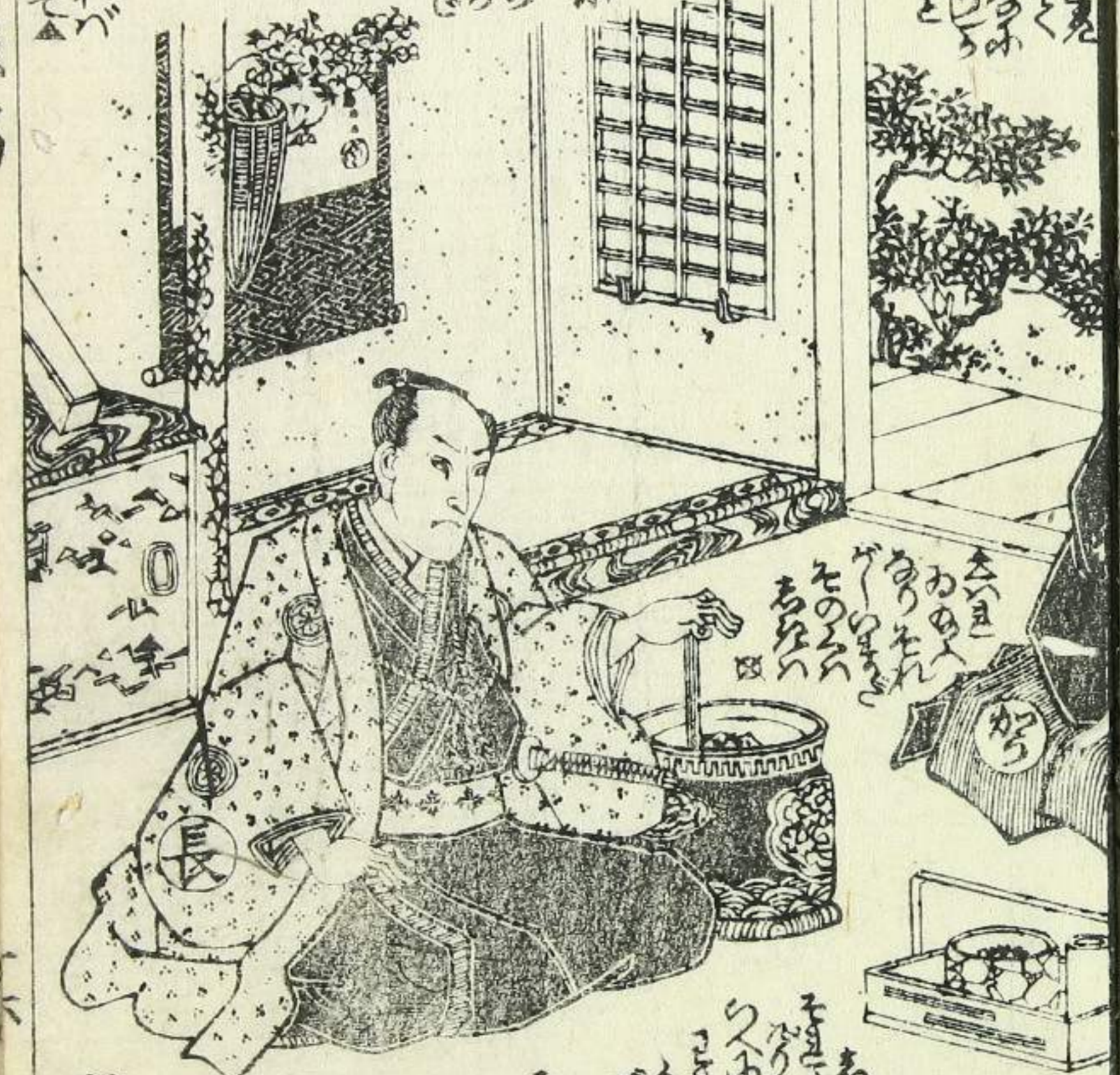
Vertical columns of handwritten Japanese text on the right side of the right page, likely providing commentary or a continuation of the text.



Vertical text on the far left edge of the page, likely a page number or chapter title.

Vertical text on the far right edge of the page, likely a page number or chapter title.

あつちのうらたりの...
あつちのうらたりの...
あつちのうらたりの...
あつちのうらたりの...
あつちのうらたりの...



あつちのうらたりの...
あつちのうらたりの...
あつちのうらたりの...
あつちのうらたりの...
あつちのうらたりの...

あつちのうらたりの...
あつちのうらたりの...
あつちのうらたりの...
あつちのうらたりの...
あつちのうらたりの...



あつちのうらたりの...
あつちのうらたりの...
あつちのうらたりの...
あつちのうらたりの...
あつちのうらたりの...

おんたけ



おんたけ

松亭金水作



一耀齋芳玉画

東雨墨圃川茶櫻

一石川一江作
一勇神園芳画

同忠信藏録傳

一筆 芥 作
一勇体園芳画

嵐山花復鑑全

柳百多 種負作
一勇神園芳画

梅櫻花江姉妹

玉園園聖恒作
一勇神園芳画

嘉永五子春新板

河原鉄五郎板



長柄
長者
梅枝



梅ヶ枝
秘藏
琴



白道
佐々木源
篤助
行



雪桂妻
於八重

山内
浪華
桃谷
の
雪桂
の
工



おゆき
おゆき



天測可唯可人
地可量不計心

佐々木
太九郎

道五郎



この大仁のよ
まらちちゅうや
うまくあひやう
ゆうはまはま
とれまはま
あつまはま
あつまはま
あつまはま
あつまはま
あつまはま

あつまはま
あつまはま
あつまはま
あつまはま
あつまはま
あつまはま
あつまはま
あつまはま
あつまはま
あつまはま

あつまはま
あつまはま
あつまはま
あつまはま
あつまはま
あつまはま
あつまはま
あつまはま
あつまはま
あつまはま



あつまはま
あつまはま
あつまはま
あつまはま
あつまはま
あつまはま
あつまはま
あつまはま
あつまはま
あつまはま

あつまはま
あつまはま
あつまはま
あつまはま
あつまはま
あつまはま
あつまはま
あつまはま
あつまはま
あつまはま

あつまはま
あつまはま
あつまはま
あつまはま
あつまはま
あつまはま
あつまはま
あつまはま
あつまはま
あつまはま





山崎

五

七



Vertical columns of handwritten Japanese text, likely a play script, surrounding the illustration on the right page.



Vertical columns of handwritten Japanese text, likely a play script, surrounding the illustration on the left page.



嘉永四年辛亥春新刊

梅 紫
 周波画
 金水作
 四編五編
 一編二編
 三編四編

濡乾
 嵩達傘
 一巻一巻
 二頁画
 雲住作

假名之章
 女名所用
 一巻一巻
 二頁画

之河
 鉄五郎
 板

金水作芳玉画

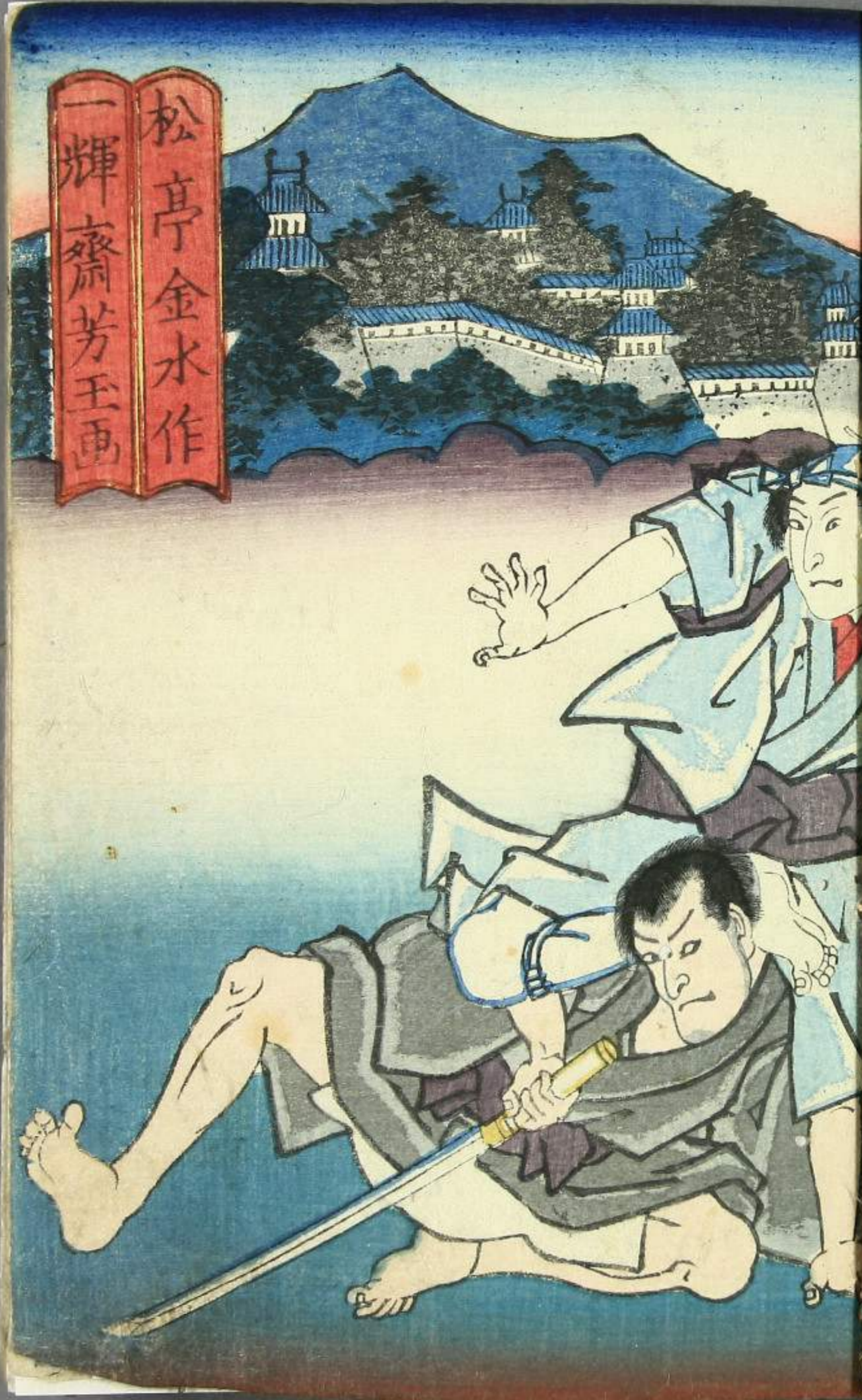


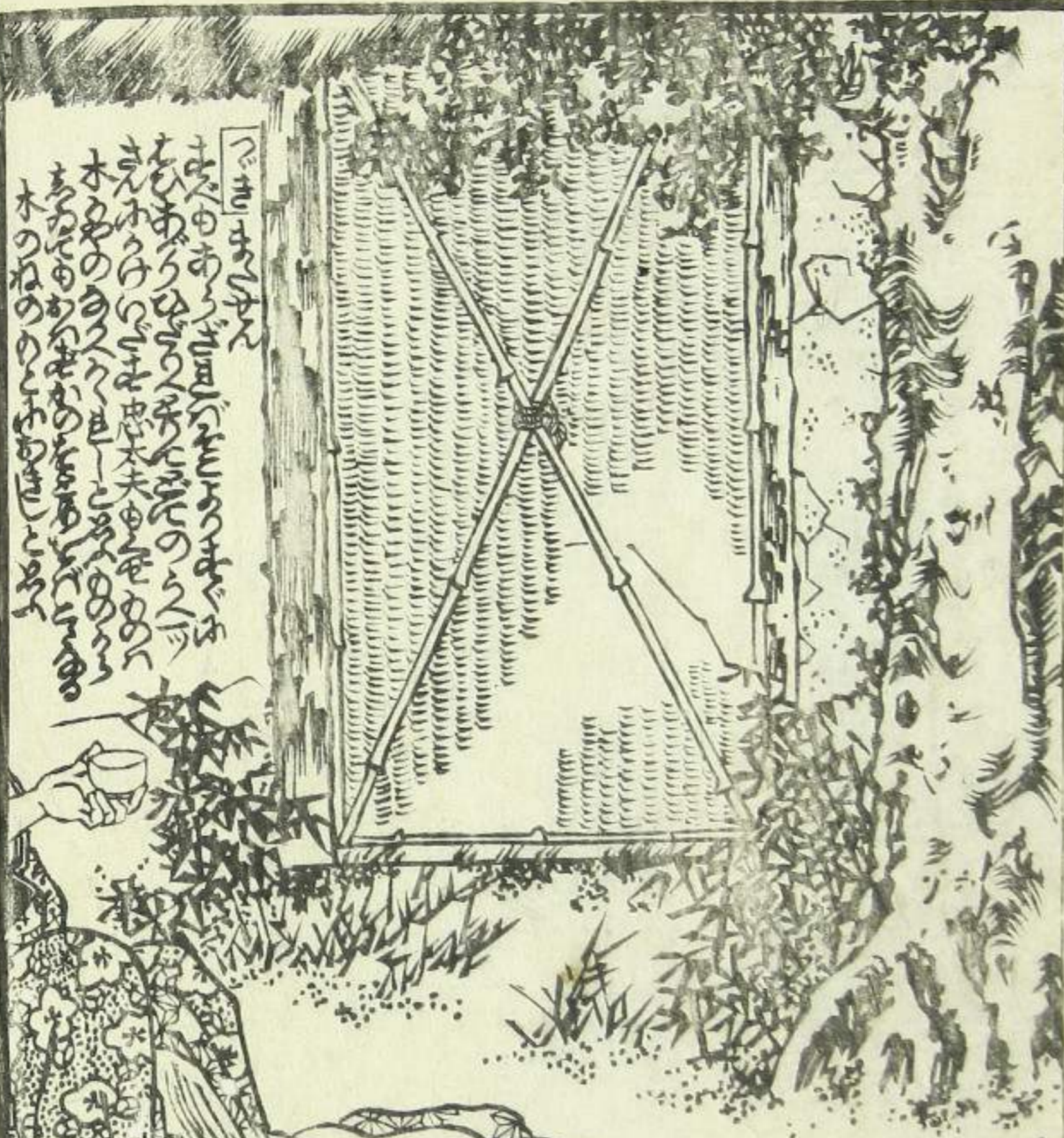
子母のついで
 小のちんちん
 小のちんちん
 小のちんちん

忠
 大夫
 西
 大夫
 忠
 大夫
 西
 大夫
 忠
 大夫
 西
 大夫

35号と
 35号と
 35号と

松亭金水作
一輝齋芳玉画





梅の木の影に
花の影に
影の影に
影の影に
影の影に
影の影に
影の影に
影の影に
影の影に
影の影に

梅の木の影に
花の影に
影の影に
影の影に
影の影に
影の影に
影の影に
影の影に
影の影に
影の影に



梅の木の影に
花の影に
影の影に
影の影に
影の影に
影の影に
影の影に
影の影に
影の影に
影の影に

梅の木の影に
花の影に
影の影に
影の影に
影の影に
影の影に
影の影に
影の影に
影の影に
影の影に

Handwritten text in the top right corner of the right page, including the page number '15'.



Handwritten text in the bottom right corner of the right page, including a small illustration of a box.

Handwritten text in the top left corner of the left page.



Handwritten text in the bottom left corner of the left page.



あふきの
まきつらむ
よろもあれ九重
うらましのうらましのうらましの
うらましのうらましのうらましの
うらましのうらましのうらましの
うらましのうらましのうらましの
うらましのうらましのうらましの
うらましのうらましのうらましの

あふきの
まきつらむ
よろもあれ九重
うらましのうらましのうらましの
うらましのうらましのうらましの
うらましのうらましのうらましの
うらましのうらましのうらましの
うらましのうらましのうらましの
うらましのうらましのうらましの



あふきの
まきつらむ
よろもあれ九重
うらましのうらましのうらましの
うらましのうらましのうらましの
うらましのうらましのうらましの
うらましのうらましのうらましの
うらましのうらましのうらましの
うらましのうらましのうらましの

あふきの
まきつらむ
よろもあれ九重
うらましのうらましのうらましの
うらましのうらましのうらましの
うらましのうらましのうらましの
うらましのうらましのうらましの
うらましのうらましのうらましの
うらましのうらましのうらましの



山崎の

11



Handwritten text in English and Japanese, including the characters '道人' (Dōjin) and '道' (Michi).

Handwritten text in English and Japanese, including the characters '道' (Michi) and '道' (Michi).

Handwritten text in English and Japanese, including the characters '道' (Michi) and '道' (Michi).

Handwritten text in English and Japanese, including the characters '道' (Michi) and '道' (Michi).



松亭金水著



一耀齋芳玉画

彩色入小倉百人一首

一 柳市多経負作

同忠臣蔵録傳

一 筆 芥 作

嵐山花復鑑全

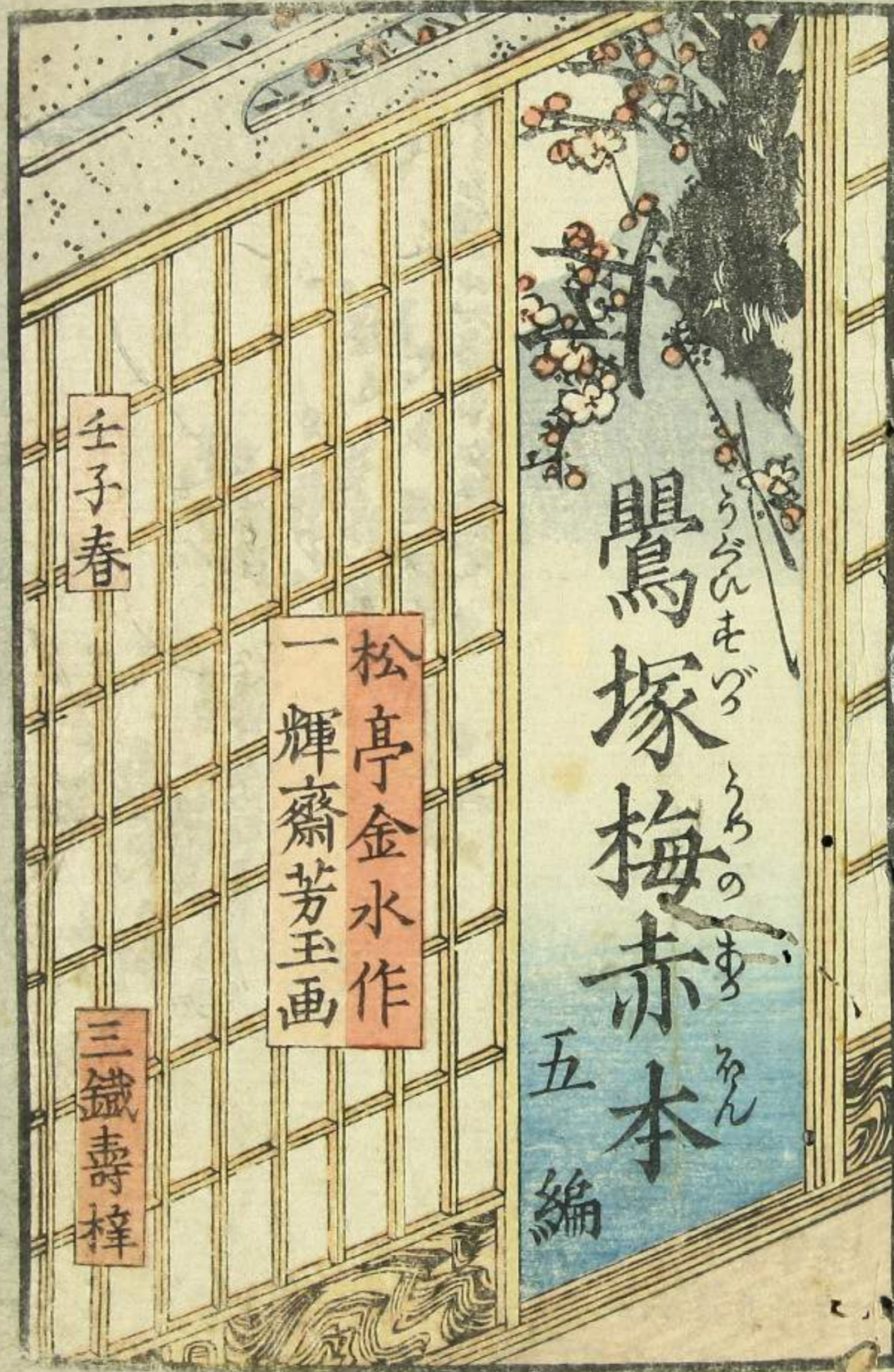
一 勇斗 玉美画

梅櫻花江姉妹

一 玉菫園 聖恒作

嘉永四年亥春

元大 二所 河原鉄五郎板



壬子春

松亭金水作
一輝齋芳玉画

三鐵壽梓

うぐいすまがら
うらのま
らん
鶯塚梅赤本
五編



樂天堂佐藤氏
宛書

特別
~13
4313
2止